

八幡台二区だより

平成 28 年 4 月発行
八幡台二区自治会
広報部

第四十九回定期総会



八幡台二区自治会・第四十九回定期総会が、平成二十八年三月二十七日（日）八幡台集会所で開催されました。司会は副会長の安岡豊治郎氏が行い、出席者は五十四名、委任状は百四十四名、合計百九十八名、総戸数は二百七十戸、会員数の二分の一を超えているので総会は成立しました。定期総会議案書に掲載されている次第通りに進行されました。

また、今回は高齢化問題を中心に意見が交わされました。二十八年度の評議委員会に課題解決を期待したいと思います。

一、開会の言葉（副会長・塚本昌世）

これから約二時間の予定で、定期総会を行います。遠慮なく質問・意見を出していただき、十分に討議をしてください。

二、会長挨拶（会長・浦田敏昭）

初めて自治会活動に関わり、会長になってできるかどうかと不安だったが、みなさんに協力いただいで最後まで務めることができました。何とかやり遂げることができたので、とてもありがたいと思います。

三、議長選出（司会・副会長・安岡豊次郎）

選出について意見が無かったため、司会一任という

ことで十一組の佐藤裕さんをお願いします。

四、議案審議

第一号議案 平成二十七年事業報告について

（議案書 P 4～7 参照）

・各係より報告

総務部 主に前年度と変わった部分を報告します。八月の全市自主総合防災訓練は、今までなかった初めての取り組みでした。それ以外は、昨年度までと同じ内容です。項目はたくさんありますが、会長はほとんどに参加しました。また、南地区自治会の役員も回ってきて、コミュニティクラブ運営委員会にも参加しました。会長は誰がやってもできると思います。ぜひ、女性の方にもやっていただければと思います。年度によって課題も変わりますが、それぞれに応じて対応していただければと思います。

広報部 二区だよりの作成と発行、バスの運行表の作成と配布、総会資料の作成と配布などを行いました。その他は総会議案書の通りです。

保健体育部 体力づくりの活動に関わることが中心で、竹園学区の夏祭りや体育祭の運営に関わりました。体育祭当日は雨で体育館で行いましたが、八幡台二区は七十四名の参加があり、盛り上がりました。若い方の活躍もあり、総合二位という成績でした。運動を通して、仲間作りができるきっかけになればと思います。

その他は、議案書の通りです。

福利厚生部 年間に二つの業務がありました。敬老の祝品の準備、地域の親睦食事会の準備などがありました。食事は三十四名の参加があり、楽しく行うことができました。

防犯防火部 毎月第三金曜日に防犯パトロールと防犯灯の点検を行いました。八幡台一・二・三区が交番前に集合して、雨の日には一区は中止していましたが、二区は天候不順で一回中止しましたが、他は雨でも行いました。一月に防災訓練を行いました。防災倉庫の点検整備を行い、八幡台公園にある倉庫のうち、真ん中にあるものを整備し、中に入れるようにしました。現在あるトランシーバーの感度が悪いので、検討中です。

環境衛生部 市の衛生委員としても活動しました。八幡台公園内にある自治会の倉庫に刃物が入っていたことを知り、棚を作って鍵をかけられるようにしてもらいました。公園清掃と花植栽は年二回で六月と十一月、花の水やりを六月から九月に行いました。ポイ捨てパトロールは三回行い、三月は評議員全員に協力していただいで行いました。ごみ収集場所の変更届提出も行いました。

防災会 防災会Ⅱ自治会です。八幡台公園に設置されている倉庫の内、真ん中にあるものを整理しました。その倉庫は、平成二十六年には修理するか取り壊すかも決めていたのですが、床を張り替え、防災倉庫として使用できるように修理を行いました。自治会が災害時にどんな役割ができるのかと、二か月に一回討議してきました。規則の改定や個人情報保護なども絡んで、委員の意見がなかなか一致しませんでした。討議を重ねた結果、先日配布した「防災マニュアル（補足）」を発行させていただきました。地域のコミュニケーションをよくして、近所同士互いに助け合っていくようにしていければと思います。

第一号議案 意見はなく承認。
第二号議案 平成二十七年決算報告について（議案書 P 8～9 参照）
第三号議案 平成二十八年役員承認について（議案書 P 1・総会議案書訂正のお知らせ参照）
・議案書の訂正があります。二十三組の沼澤さんのお名前は啓子さんです。
・新役員は承認されました。

第四号議案 平成二八年事業計画案・予算案（議案書 P 15～16・議案書訂正のお知らせ参照）

は訂正箇所	
・会費収入見込み	3600円×260戸
	936000円
・二十七年決算額	防犯防火費
	17778円
・二十七年決算額	計
	1262195円
・花の水やり対策用に、環境衛生の予算を増やしています。予算は計画なので、来年度の実情に合わせて、	

調整していただきたい。

・意見・質問は特になく、承認されました。

子供会決算報告

・収入は自治会からの補助金 8 万円と前年度繰り越しとの合計で 159393 円。

・支出合計 136109 円

・残金 23284 円は次年度に繰り越します。

・平成 28 年度役員

会長・書記 二十二組 坂倉

会計 十六組 内藤

子子連 二十二組 齊藤

・先日の回覧の通り、これまでと同様の活動を続けることが難しく、二十八年度は児童全員が参加できる子供会にします。新四年生が中心となりますが、自治会でご支援ご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。

新役員の自己紹介・新会長挨拶

・新役員の自己紹介の後、新会長の島田寛さんの挨拶がありました。

・自治会は初めてで、至らないところもあると思いますが、みなさんの協力を仰いでやっていきたいと思えます。安心安全な街づくり、向こう三軒両隣、隣人のつながりを強めていきたいと思えます。住みよい地域を目指していきたいと思えます。一年間よろしくお願い致します。

その他(質問や意見など)

・小田急の時刻表改訂で伊勢原にロマンスカーが止まるようになるようだが、駅前前の開発の話は何か進展はあるのでしょうか？

↓浦田会長より…今のところ駅前整備の話は出ていません。

・社会福祉協議会の話の中でも、八幡台地区は市の中でも三本に入る高齢化地域と聞きました。男性は個人的趣味を楽しみ、外に出ないことが多いようです。年配の方が、筋力が落ちないように外に出て、脳トレや筋トレができるように、工夫をしなければと思います。評議委員の任期は一年だけですが、心ある方に残っていただいで、ぜひもう一年続けていただきたい。

・ポールウォーキングをやっているが、とてもいい運動だと思っています。市でもポールウォーキングを推進していただき、地域のグラウンドなどでやってもらえると嬉しいですね。もともと整形外科の医者が考えた運動なので、脊椎狭窄症の方でもできるそうです。毎日一万歩も歩くことは無理ですが、「三分早足で歩いて三分ゆっくり歩く」を繰り返して、三〇分くらい続けるのもいいし、続けなくてもいいのです。血圧が下がるなどの効果があります。

・きつかけを作ってもらうことはいいですが、自分でやることも大事です。

・子供会では自治会と一緒にラジオ体操・ボーリングなどを行うように企画しましたが、参加者が少なく残念でした。来年度も続けようと思うので、たくさんのご参加をよろしくお願いします。

・私は農業をしていますが、衰退してきていることを心配しています。実は伊勢原市は、ナシやブドウの生産は県内一です。でも、高齢化で続けることが難しくなってきました。ぜひ、若い人たちと一緒にやりたいと思います。

・現状では、集会所などで囲碁・将棋などをやっていますが、高齢者が集まれる場所を作る必要があります。徒歩で歩ける範囲も限られているので、費用や距離を考えるとなかなか難しいです。井戸端会議など、ご近所づきあいを広げていくことが大切だと思います。

・市のいきいき教室に出ています。男性の参加者が少ないです。男性がいかにいろいろなところに出るか。私は今八十一歳ですが、いろいろなところに出ていると顔見知りになって、挨拶もしてもらえます。とても嬉しいですね。身近な問題解決は女性の方が得意です。

今日の総会では少し意見が出ましたが、女性にもどんな意見を言っていたかです。公園掃除の時間も、高齢者対策をしてほしいと言われました。来年度の評議委員会で、ぜひ取り組んでいただけたらと思います。

・二十八年度の評議委員の方には、子ども会のバックアップ、連携をぜひお願いしたいと思います。

活動報告

二十七年年度会長 浦田 敏昭(十一組)

毎年のように各地で大規模災害が発生しています。当地区は特に影響を受けず、平穏な一年間であったと思います。

自治会の運営に当たって、行政からの連絡あるいは申請業務などの通常事業については、先人の方々によりひかれたルールに乗り無事に務めることが出来ました。これからは会員交代で会長を引き受けても、前向きに取り組めば誰でも運営出来ることが判りました。

二十七年年度の事業の中で、新規の大きな行事は市全体で行われた広域避難所への避難および避難所運営だけでしたが、広域避難所運営委員会が組織的に実施するまでにはなりませんので、自治会の対応も未完となりました。

自治会発足してから 49 年になり、時代の流れとともに会員の入替わり、高齢化、一人暮らし、空家、空地が発生、子供会の参加者減少などの地域の環境の変化も起こっています。

これらの課題を一気に解消することは至難の業です。そこで二十七年度は、いつ起きるか分からない災害に、即座に対応できるような防災組織で、当地域にあった実用的運用はどのようなものかということを検討しました。検討結果は、まだ検討を必要とするところがありますが、防災会と各世帯との関係をイメージとしていただくため、総会議案書とともに配布いたしました。

その他の課題は、二十八年年度以降の評議委員会で検討をお願いしたいと思います。

大勢の方々を知り合いになりご支援いただきありがとうございます。

年度中に評議委員(高田宏造副会長、成瀬イトさん)会員(土田平三さん、土川顕さん、小林しげ子さん、加藤明弘さん)の方々がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申しあげます。合掌

互近所を知ろう

自治会では、行政からの指導で災害時要援護者登録台帳および支援者台帳を作成所持することになっていますが、これは個人情報を開示出来る方に限られており、現在の自治会の状況では、ほんの一部でしかありません。

災害時だけでなく、平常時も誰もが災難に会う可能性があるので、自治会としてはもっと広範囲の仕組みを作り、機能させることが必要と思います。自治会で個人情報共有することは、個人情報保護と矛盾する問題がありますが、近隣の各家庭間で記録しない範囲で持てば情報の拡散は防げるものと思います。

自治会では年間を通していろいろな事業を行いコミュニケーションの維持をはかっていますが、普段の生活のなかでのコミュニケーションの向上が組織としての共助につながるものと思います。

四国八十八か所霊場めぐりの道中において、巡礼街道沿線の人々が、お遍路さんへのおもてなしの文化として、おせっかい（お接待）を行なっておりますが、この中に「おせっかい」するという行為があります。おせっかいは言うまでもなく相手に対し余計なことをするわけですから、受ける側が不快に感じることもあるわけですが、お互いに見返りを求めない、ストレスのたまらない程度のこの行為を近隣のお付き合いとすればあらゆる課題が自然に解消できるものと思います。

もう少し気軽に発言を



副会長 塚本 昌世（十組）

自治会が支援活動を行うには、皆さん方の「家庭事情」が分かっていることが、速やかにできるのではと考えることがあります。一方で身近な自治会が「家庭管理」することには「個人情報保護」上から不安がある

として、そこまで踏込まなくてもよいのではとの意見もあり、慎重な対応が求められました。

地域問題では女性の意見が大変に参考になります。自治会の「決め事」は評議委員の討議つまり自分自身で決めていきます。

評議委員は「持ち回り制のボランティア」とすれば評議委員会ではもう少し気軽にみんなが発言して、そうした中で意見がまとまる、そんな討議過程がとても大切と考えます。

私の未熟で過程づくりが不十分だった事を反省しています。何とか果たせたのは皆様のお陰と、又多くの方とお知り合いになれましたことと感謝しています。

コミュニケーションの輪

副会長 安岡 豊治郎（十九組）

昨年の十月末日の急な高田副会長のご逝去により副会長を務めさせて頂きました。

冬には寒さによる風呂場での急変、夏には暑さによる熱中症や脱水症、また、室内外での転倒等が八幡台二区内の高齢者所帯でも発生しています。この様な場合にご近所、お友達の助け合いが欠かせません。普段からの気楽なご近所、お友達とのお付き合いにより互いの体調等を知って頂き、お互いの見守りにより、少しでも早期の対応に繋げていく事が出来ると思っております。

会員皆様のコミュニケーションの輪作り、拡大に自治会が寄与することにより、このコミュニケーションの輪が高齢者の心の余裕にもなり、また、今後発生すると予想される災害に対しても大きな力に成ると思っています。

会計係より



井手（一組）金崎（二十一組）

皆様からお預かりした会費を管理するという重要な役割に、戸惑い、不安の一年間でしたが、無事に年度末を迎えることが出来ました。評議委員そのものが初めての経験でしたので、自治会の活動において何にいくら費用がかかるのかを知りたい機会となりました。

これまでご協力いただきました皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

広報係より

林（十八組）小野（十五組）牧野（二十三組）

広報を担当して「二区だより」に載せる写真を撮るために様々な行事に参加しました。自治会の活動にはいろいろあるという事と地域のつながりを知りました。会長さん、副会長さん、評議委員の皆様の人柄が良かったので楽しく無事一年を終える事が出来ました。一年間ありがとうございました。

保健体育係より

高橋（十六組）櫻井（十四組）志村（四組）宮島（十三組）

前役員の方の引き継ぎがわかりやすく日程表に書かれており、一年間無事に係の仕事が出来ました。評議委員の役員の方や二区の皆様のご協力に感謝しております。

夏祭りのテント張り、飲料の販売に始まり雨のため体育館での体育祭となりましたが子どもも大人も楽しい時間を



過ごす事が出来ました。伊勢原駅伝、大山マラソンの走路員など、地域の行事に携わることでより一層人と人の関わりの大切さ助け合いなど肌で感じた一年でした。ありがとうございます。

防犯防火係より



これからも安心な八幡台二区で

原（五組）坂倉（二十二組）
蒔田（三組）米山（九組）

一月二十四日自主防災訓練を実施しました。今年には主に防災基礎知識、防災用品の活用、救命処置等を行い、特に救命処置では参加者三十一名ほぼ全員にAEDを体験していただくことができました。その時の様子が、「広報いせはら」に載ったのですが、皆さん見ていただけたでしょうか。

いつ発生するかわからない災害に、知識や備えはとも大切なことです。しかしそれ以上に頼りになるのが、人の力、人とのつながりだと思ふのです。

今回初めて自治会評議員委員を務めさせて頂きましたが、これまでの自治会の皆さんの努力の上に地区の安全や治安が保たれていたことを知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この一年、防災倉庫の整理、防犯灯の管理等を行ってきました。毎月第三金曜日の防犯パトロールには、多くの方に参加ご協力いただきました。



最後に、二十七年度の評議員の皆さんと一緒に活動できたことをとても嬉しく思います。一年間ありがとうございました。

福利厚生係より



森下（十七組）都築（六組）

九月には「敬老の日」の記念品贈呈、十一月には親睦会開催と二つの行事が滞りなく実施できたことに感謝申し上げます。

昨今、地域の皆様とふれあう場が少なくなってきたり、問題を考えるなど、数々の貴重な体験をさせていただきました。福利厚生的重要性を再確認いたしました。ありがとうございます。

会員の皆様には、この一年間福利厚生にご協力をいただき、ありがとうございました。

環境衛生係より

瀧澤（二組）阿部（八組）
柴田（十二組）門倉（二十組）

四月当初は不安でいっぱいでしたが、皆様に支えられ、一年を終えることが出来ました。

年二回の公園清掃と花植栽、年二回の市民総ぐるみ大清掃には、大勢の会員の皆様に参加していただきまして、ありがとうございます。今年度は、天候に恵まれ、多くの皆様にご協力をいただき、実施することが出来ました。皆様のご協力があり、きれいな公園が維持出来ていますことを実感し、感謝の気持ちでいっぱいの一年となりました。

今後も引き続き、自治会活動にご協力をお願い申し上げますと共に、お散歩の際の小動物の排泄物の後始末、持ち帰りにご協力をよろしくお願い致します。一年間ありがとうございました。

子ども会より



坂倉（二十二組）齊藤（二十二組）塩原（十七組）

今年度も子ども会ではいちご狩りやラジオ体操、ボーリング等多くの活動を行うことができました。更に今年には自治会員の方々のご協力を頂き、夏休みには星空観察や絵画の宿題についてご指導をいただく寺子屋を企画し、皆で楽しく学ぶことができました。この様な活動の中で子ども達が学年を超えて自然に助け合い遊ぶ姿を見ることができ、とても嬉しく思っています。ありがとうございます。

来年度は子ども全員が参加できる子ども会とし、子ども達を中心となつて企画・運営をしていくこととなりました。新たな挑戦となりますが、自治会の皆様とともに子ども達も楽しく活動できればと思っております。

今後自治会の皆様の温かいご支援ご協力をお願いいたします。

転出

十五組 木戸 健一様

転入

二十組 府川 諒人様